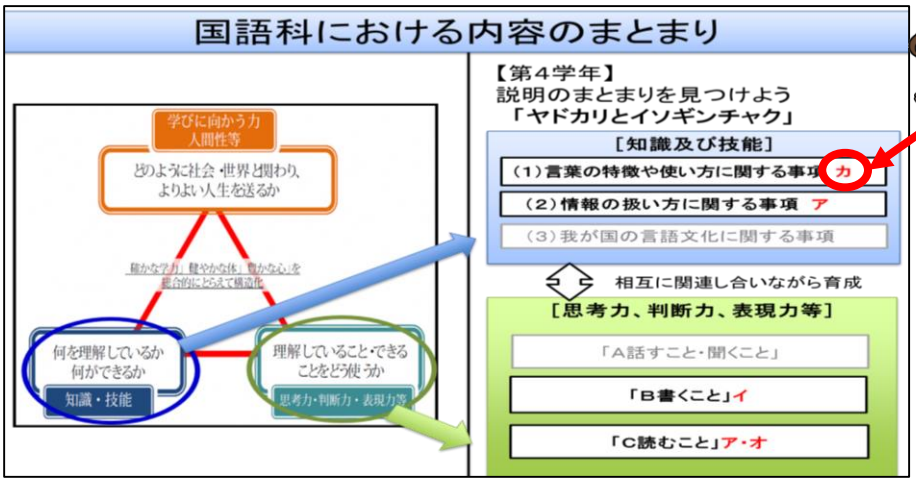
【国語科の授業改善シリーズ②】

単元の指導事項を確認し、指導すべき内容を焦点化する！

西部教育局
お役立ち情報
令和4年8月号

国語科は教科書教材を使って指導事項を身に付けることができるよう指導する教科です！

国語科の学習指導要領「各学年の目標及び内容」2内容には、内容のまとまりごとに「〇〇に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する」とあり、ア～オの指導事項が示されています。



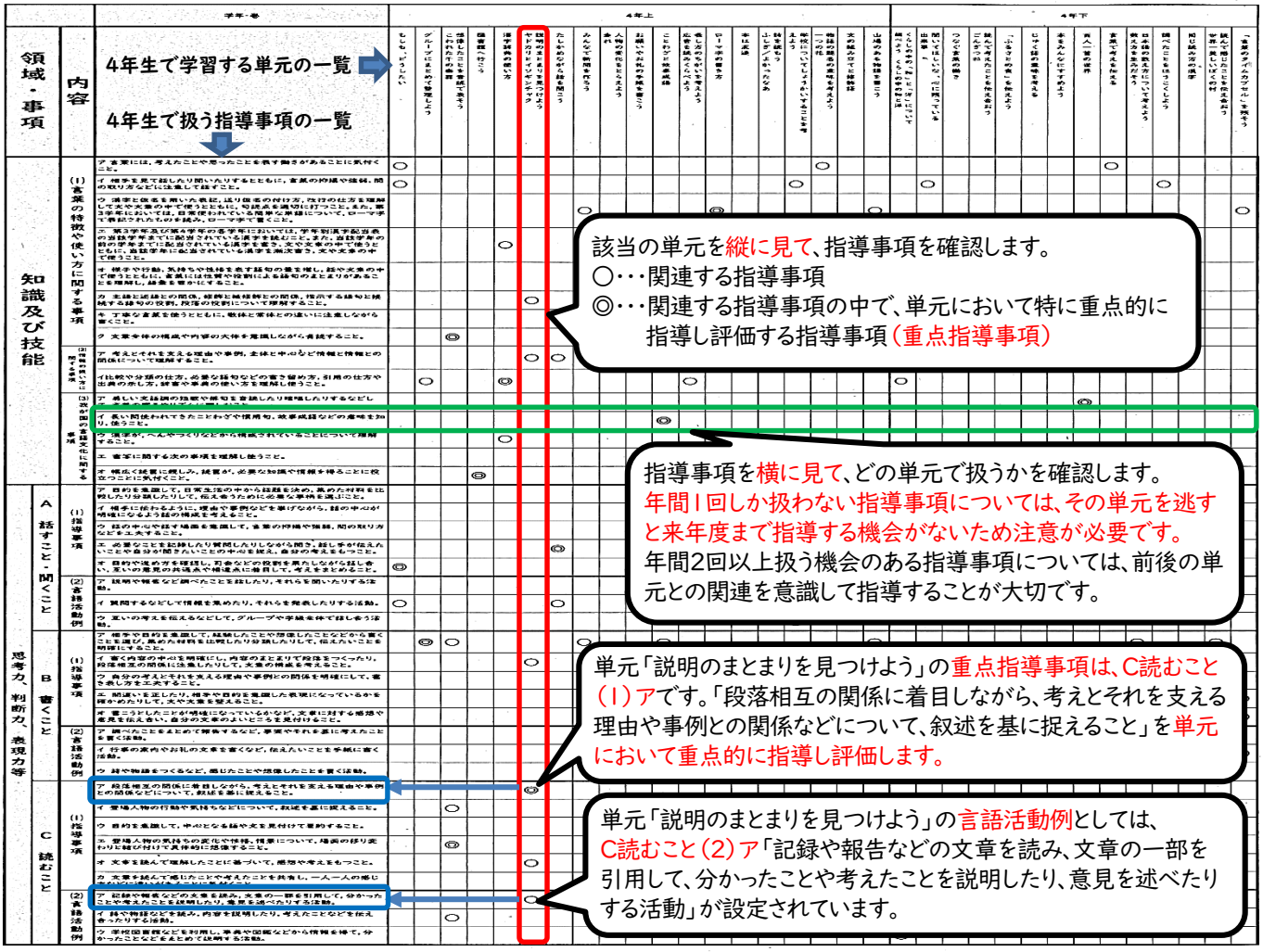
内容のまとまりごとの指導事項の一覧は、指導要領解説の198～207ページに掲載されています。

指導事項を示す記号

第4学年「説明のまとまりを見つけよう」の単元では、
【知識及び技能】(1)カ、(2)ア
【思考力、判断力、表現力等】Bイ、Cア、オの指導事項を身に付けることができるよう、
「ヤドカリとイソギンチャク」という教材を使って指導します。

1つの単元で「言語事項」も「話す・聞く」も「書く」も「読む」も全部指導しなくてはいけないと思っていませんか？指導事項が明確になれば、その単元で指導するべきことが焦点化されます！

各単元で扱う指導事項は、年間指導計画でも確認できますが、各指導事項の関連や系統を確認するためにも、「指導事項との関連表」を活用することをお勧めします。



該当の単元を縦に見て、指導事項を確認します。
〇・・・関連する指導事項
◎・・・関連する指導事項の中で、単元において特に重点的に指導し評価する指導事項（重点指導事項）

指導事項を横に見て、どの単元で扱うかを確認します。
年間1回しか扱わない指導事項については、その単元を逃すと来年度まで指導する機会がないため注意が必要です。
年間2回以上扱う機会のある指導事項については、前後の単元との関連を意識して指導することが大切です。

単元「説明のまとまりを見つけよう」の重点指導事項は、C読むこと（1）アです。「段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えること」を単元において重点的に指導し評価します。

単元「説明のまとまりを見つけよう」の言語活動例としては、C読むこと（2）ア「記録や報告などの文章を読み、文章の一部を引用して、分かったことや考えたことを説明したり、意見を述べたりする活動」が設定されています。

「指導事項との関連表」は、教科書会社のホームページからダウンロードすることができます。年間指導計画とあわせてファイリングし、常に確認できるようにしておきましょう。